

第21号

# 新風会だより

発行：平成28年12月1日

いそざき陽輔新風会

大分市長浜町2-12-10

TEL097-(535)-8260

<http://isozaki-office.jp/>

## ヨウスケが行く



参議院議員

磯崎陽輔



8月の内閣改造で期せずして農林水産副大臣を拝命しました。国会議員になった頃には農業もよく勉強したのですが、最近では安全保障関係の仕事が多く、また、3年近く務めた内閣総理大臣補佐官を退任したばかりでしたので、意外な人事でした。拝命した以上は、日本の農林水産業の振興のため、しっかりと努力していきたいと思えます。

日本の農林水産業は、今大きな改革期を迎え、構造改革が大きな課題となっています。これまでも何度も議論されてきた課題ですが、ようやく農林水産業を営む人の側からも理解が示されるようになってきました。以下、農林水産業を通じた共通の課題もありますが、分かりやすくするため、話を農業に集中したいと思います。

「新農政」とも呼ばれていますが、一体何のための改革なのでしょう。それは、言うまでもなく、「もうかる農業」への転換を図るものなのです。それぞれの農家も収入を上げるため一所懸命にがんばっているのですが、それでも跡継ぎがないという話をよく聞きます。農業が悪いわけではないのです。若い人が田舎に帰って就農するだけの所得が見込めないからなのです。実際、ある程度の所得を上げている農家には、必ずと言っていいほど跡継ぎがいます。農業所得を上げ、農業を今後とも持続可能な産業にすることが、新農政の目的なのです。

そのためには、様々な観点からの対策が必要ですが、私は、国際化と消費者ニーズへの対応が重要であると考えています。

我が国の食料生産額は、世界第10位です。これは、人口順位におおむね沿うものです。一方、食料輸出額は世界第60位とかなり低水準にあります。我が国の農林水産業がいかに内向きの産業であるかがよく分かります。日本の食料は、味質ともに高品位のものです。これを世界に売り出さない手はありません。政府としては、食料輸出額を東京オリンピックの前年の2019年までに1兆円を超えるよう努力

しています。輸出では大分県の日田梨も有名ですが、北海道十勝の長イモも10億円を超える輸出額を誇っています。

日本にはたくさんの美しい水田があり、各地が競っておいしいお米の生産に努力しています。日本の原風景は、田んぼにこそあります。一方で、国民のお米の消費量は、つるべ落としで減少しています。他の多くの主食や副食が市場にあふれているからです。減反の目標値を示すことは、今年で最後になります。今後は、農家が自らどんな作物が消費者のニーズに応えるものであるのか、考えてほしいのです。農業も、経営です。それ抜きには、「もうかる農業」はあり得ません。

そのためには、農業が経営として成り立つよう大きな農業を育てていく必要があります。農地の集約と経営の法人化は不可欠です。若い人が最初から担い手として農業経営に乗り出すことは、難しいことです。まず、生産法人の労働者として農業に参加できるようにすべきです。すぐには難しいかもしれませんが、週休2日で勤務できるようになれば、多くの若者が農業法人を就職先として選択することでしょう。東日本大震災の津波被害を受けた地域でも、土地改良事業により農地の集約が進み、多くの生産法人が経営を担っています。

また、農家独自の努力では解決しがたい課題もあります。肥料、農薬、農機、段ボールなどの価格が他国と比べて高いのではないかとという資材価格の課題があります。現在、与党において様々な観点からの調査や議論が行われています。他方、将来担い手となる若い優秀な農業者をどのようにして育て、供給していくかも、極めて重要な課題です。

こうした議論をすると、条件不利地域である中山間地では、農地の集約など困難であり、課題の解決は難しいとの主張が聞かれます。もちろん、中山間地においても、農地の集約や法人化の努力は必要です。しかし、農家の高齢化などに伴い、難しい所もたくさんあることと思えます。そうした所については、平地の農業と同じように考える必要はなく、特別な配慮を続けていくべきであります。

このような多様な議論を政府与党で続けています。改革の目的は、「もうかる農業」への転換です。農業を経営する皆さんに、経営者としての視点を持っていただくことが不可欠です。それを支援するために、全作物を通じた収入保険制度の創設などを検討しています。どうか、農家の皆さんはもちろんのこと、「新農政」へ向けた改革の道を国民全体の課題として議論していただきたいものです。

# ＜国見町・国東町・安岐町＞ふるさと対話集会

10月初旬、国東市国見町、国東町及び安岐町で「ふるさと対話集会」を開催しました。

当日は、農業政策等について国政報告をした後、参加者から、農林水産業、福祉、教育等に対して、たくさんの御質問や御意見・御要望を頂きました。

「生声の講演には感動した。」などの感想も寄せられ、これからも継続してふるさと対話集会を行っていきます。

## 農業について

○中山間地域等直接支払交付金をもらうことで喜んでいる人も多いのですが、一方で、色々と制約があり厳しすぎるのではないかと感じています。

○TPPが成立したら、アメリカから安い米が入ってくるので、米をつくっても割に合わないと言う人がいますが、本当にそうなるのですか。

▶安い米が主食用に入ってくることはありません。

○高齢化で事務をできる人がいなくなり、中山間地域等直接支払の事務手続ができなくなるのではと心配しています。

▶事務の簡素化に努めます。

○農薬規制が厳しいと感じます。安全性のために規制が厳しくなるのは、仕方ないことだと理解はしていますが、毎年のようにルールが変わってついていくのが大変です。また、農薬が高くて負担になっています。医療と同じように農薬にもジェネリック品があると助かります。

▶規制緩和に努力します。

○女性を中心に農業法人を立ち上げました。農業を通じて、女性が社会貢献できるのではないかと考えています。女性にとって、子育てと農業の両立は大変です。安倍政権では、女性の活躍を推進して

いますが、女性が子育てをしながら、農業での自立、貢献をしていくために、どのような取組をしていったらよいかアドバイスを頂けますか。

○畜産業を営んでいますが、畜舎の改修をするために補助金申請をしたのですが、余り良い回答はもらえませんでした。何かいい方法はないでしょうか。

▶畜産クラスター制度を活用してください。

○鳥獣被害が深刻です。予算もつけてもらっていますし、ジビエ料理などにも使っていますが、それでもなかなか対策が追いつきません。

▶十分な予算を確保していきます。

## 林業について

○現在、森林が荒廃していますが、森林1ヘクタール当たり、3,000円の固定資産税が課されていて、負担が大きいと感じています。そこで、是非、保安林並みにしてほしいと思います。

また、現在東国東郡森林組合では、林業専用道を作っていますが、森林所有者には、大変喜んでもらっています。そこで、是非国の予算の拡大をお願いします。

## 水産業について

○漁業の維持のためには、稚魚を放流することが欠かせませんが、現在の漁協からの出費と補助金を



安岐町ふるさと対話集会

併せた範囲では、十分な放流ができません。漁業維持のために国も何らかの施策を考えてほしいと思います。

## 第一次産業全般について

- 磯崎議員の「変えていかなければならないものもある。」という考え方に賛同します。国見町では第一次産業が中心ですが、独自産業化や、アンテナショップやインターネットの活用など新しい手法も取り入れていくべきだと思います。

## 福祉について

- 地域の高齢化が進み、生産人口も少なくなっているのので、介護従事者、ヘルパーさんも少なく、非常に深刻です。

私は、高齢者の方が、一緒に歌を歌ったり、ゲームをしたり、食事をしたりする居場所が必要だと思います。また、例えば脚が悪くても料理ができる方は、歩行ではサポートをしてもらわないといけませんが、みんなに料理を作ってあげるといことで、料理ができない人をサポートしてあげられるなど、高齢者同士が助け合っていけると思います。私は、こういうサポートセンターを立ち上げたいと考えていますが、実現させるには、どのように進めていったらいいか教えてください。

- 先日テレビで、高齢化社会で医療費が莫大になるので、将来的にはできるだけ病院を使わないで、在宅医療に切り替えていくことになるのではと聞いていましたが、これから十分な医療が受けられるのか心配です。

▶医療費の削減も必要ですが、必要な人に必要な医療の提供は続けられます。

## 教育について

- 農業や水産業などの専門の高校がなくなりましたが、こういう専門高校は、残すべきだと思います。

- 中学1年生の時は、一クラス当たり40人なのが、2年生からクラス数が減り、一クラス当たりの生徒数が増えます。教師が不足しているというのが理由のようですが、授業参観をした時、40人以上になると、教室がとても狭いと感じました。何とかならないのかと感じました。

▶教員加配の制度など市と相談してください。

## 高齢化・過疎化について

- 若い人が少なくなり、祭りができない、草刈りができない、区長になる人がいないなどの問題がおきています。若者にとって、田舎で住むメリットがないことが問題だと思います。若者が田舎で家を継ぐことが魅力的だと感じるように、政府でも何か対策を講じてほしいと思います。

▶「もうかる農業」を目指して第一次産業への就労を促進することが必要です。

## その他

- 大分県に新幹線を通すという記事を新聞で読みましたが、実現するのでしょうか。

▶東九州新幹線は、新幹線建設基本計画に掲げられています。



国東町ふるさと対話集会



国見町ふるさと対話集会



# 新風会ひろば

ホームページで、活動記録を御覧いただけます。  
<http://isozaki-office.jp/>  
 携帯サイトは、右のQRコードからアクセスしてください。



APEC食料安全保障担当大臣会合で



大分大学生の皆さんと



地理的表示登録証授与式で



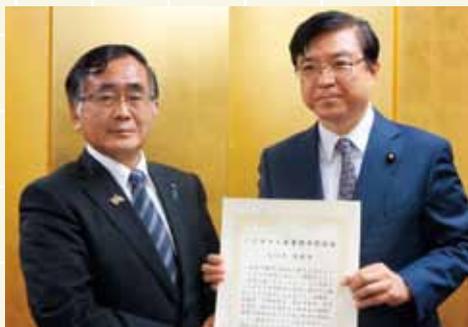
岩手県で台風10号の被害状況を視察



アグリフードEXPOでテープカット



ドゥテルテ・フィリピン大統領歓迎総理主催晩餐会で



三河国東市長にバイオマス産業都市認定証授与



湯布院で熊本地震の復旧状況視察



日秘文化会館でペルー日系人協会のクニガミ会長らと



シーフードショーで鏡開き